

なっています。

本市は「生んでよし」「育ててよし」「住んでよし」を目標に掲げ、誰もが住みよいまちを目指してさまざまな支援策を計画しています。

子育てをする家庭へ独自の支援をはじめ、結婚や出産、子育てしやすい環境づくりなど、子どもを産み育てることに対する諸問題を解決するため、計画的な支援事業を実施していきます。

また、超高齢社会を迎えるなか、心身ともに健康で、いかに健康寿命を延ばせるかが、大きな課題と認識しています。住み慣れたこのまちでいつまでも暮らせるよう介護予防を促進し、地域の協力を得ながら、見守りや支え合い体制の構築を図り、介護保険事業および高齢者福祉事業を推進していきます。

10年先を見据えた計画を

国会では昨年11月、「まち・ひと・しごと創生法」が可決され、人口減少というわが国が直面する大きな課題に対し、国と地方が一体となった取り組みを加速しようとしていきます。この改革の流れをしっかり受け止め、向き合っていかなければなりません。

12月に行われた衆議院議員総選挙の結果を受けて今後アベノミクスが加速していく中、日本経済や国民生

活をどのようにして豊かにしていくのか、効果的できめ細やかな経済対策が求められています。

本年は、平成28年度から平成37年度までの10年間を見据えた「第2次御前崎市総合計画」策定の年であり、この総合計画は、本市の望むべき将来像を描いたもので、市民の皆さまと職員が協働して作り上げ、今後進むべき方向性を確立していきます。行政運営やまちづくりの在り方を示す総合的な指針となるよう、取り組んでいきます。

魅力あるまちづくりを

本年は「未(ひつじ)年」です。羊は群れを成すことから「家族の安泰」を表すとされ、いつまでも「平和」に暮らすことを意味しています。

昨年は、市制施行10周年の大きな節目でありましたが、本年は新たな一歩を力強く踏み出す決意の年であります。これからの10年、20年先も家族そろって笑顔で過ごし、御前崎市に「住んでみたい」「住んで良かった」と言われるような魅力あふれるまちにしていくため、皆さまとともに元気な御前崎市を県内外へ発信していきたいと思えます。

迎えた平成27年が皆さまにとってさらなる飛躍と発展の年となりますようお祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

